

酒井有彩 & 東京フィルハーモニー交響楽団

～音の魔術師 モーリス・ラヴェル～

Arisa Sakai
× Tokyo Philharmonic Orchestra
“Maurice Ravel”-le magicien du son



©上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

オール・ラヴェル プログラム All Ravel Program

亡き王女のためのパヴァーヌ(管弦楽版) Pavane pour une infante défunte

「ソナチネ」 “Sonatine” ピアノ協奏曲 ト長調 Concerto pour piano et orchestre en sol majeur

「水の戯れ」 “Jeux d'eau”

左手のためのピアノ協奏曲 ニ長調 Concerto pour la main gauche en re majeur

「ボレロ」 (管弦楽版) “Boléro”

絶賛発売中



©Yoshinori Kurosawa

酒井有彩(ピアノ)



©Eisuke Miyoshi

渡邊一正(指揮)

2024 **10.16** (水) 19:00開演(18:30開場)

東京オペラシティコンサートホール

全席指定(税込): S席 7,000円 A席 5,500円 B席 4,000円

お問合せ: サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません



【18歳以下無料招待・同伴者半額】東京公演は、『文化庁子供文化芸術活動支援事業』です。

18歳以下の方を対象に無料で招待します。

※受付は先着順となりますので、定員に達し次第受付終了となります。※本応募は文化庁の採択を以て告知を開始しております。お申込以前にご購入いただいた場合も払い戻しはできません。ご了承ください。

詳細・申込は
こちら➡



- 東京オペラシティチケットセンター
03-5353-9999 (10:00~18:00)
- チケットぴあ t.pia.jp (Pコード:270-184)
- ローソンチケット l-tike.com (Lコード:31904)
- イープラス eplus.jp

※未就学児童の入場不可。※都合により曲目が変更となる場合がございます。※車椅子席をご希望のお客様はS席チケットを購入の上サンライズプロモーション東京へお問い合わせください。

主催: MIYAZAWA & Co.

協力: 株式会社 オクタヴィア・レコード

完璧主義者といわれるモーリス・ラヴェル。

彼の作品は緻密で精巧、斬新なハーモニーが多用されていますが、

その音楽はどんな時も洗練され、エレガンスにあふれています。

作品に向き合う度、魅了され続けている作曲家の一人です。

今回の公演では晩年に並行して書かれた二つの協奏曲、

デビューアルバムにも収録した【ピアノ協奏曲 ト長調】、

初めて取り組む【左手のためのピアノ協奏曲】をメインに演奏いたします。

研ぎ澄まされた感性、そして神秘的な美しさとともに、

どこか暗い情熱を感じさせるラヴェルの世界観、

会場で皆さまにお楽しみいただけましたら嬉しいです！

酒井有彩



©Yoshinori Kurosawa

酒井有彩(ピアノ)

Arisa Sakai

文化庁新進芸術家在外研修員。ベルリン芸術大学を最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。幼少よりピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会、全日本学生音楽コンクールをはじめ、マルサラ市国際コンクール第2位、ジュネーブ国際コンクールセミファイナリスト、レオポルド・ベラン国際コンクール第1位など国内外に

多数受賞。東響、群馬響、大フィル、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響、モディリアーニ弦楽四重奏団等と共演。NHK Eテレ「クラシック音楽館」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、「家庭画報」誌等、メディアにも多数出演。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。2019年「ラヴェル ピアノ協奏曲」(レコード芸術誌特選盤)で鮮烈なCDデビューを果たし、憧憬/ Sehnsucht nach Leipzig」、ヴァイオリンとのデュオで「歌う旅路」と3枚のアルバムをリリース。

www.arisasakai.com



©Eisuke Miyoshi

渡邊一正(指揮)

Kazumasa Watanabe (Conductor)

1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する

信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。また Санкт-Петербург 交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。



©上野隆文

東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年には『情熱大陸』『BS1スペシャル』などのドキュメンタリー番組や国民的番組『NHK紅白歌合戦』にも登場。1989年よりBunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。

■ 公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>

■ Facebook /TokyoPhilharmonic/ ■ X @tpo1911

■ Instagram tokyophilharmonicorchestra

■ Youtube @tokyophilharmonicorchestra5039